

令和8年（2026）1月
入域観光客数概況（確定版）

83万6,000人
対前年（R7）同月比　＋5万2,600人、＋6.7%
～1月としては過去最高～

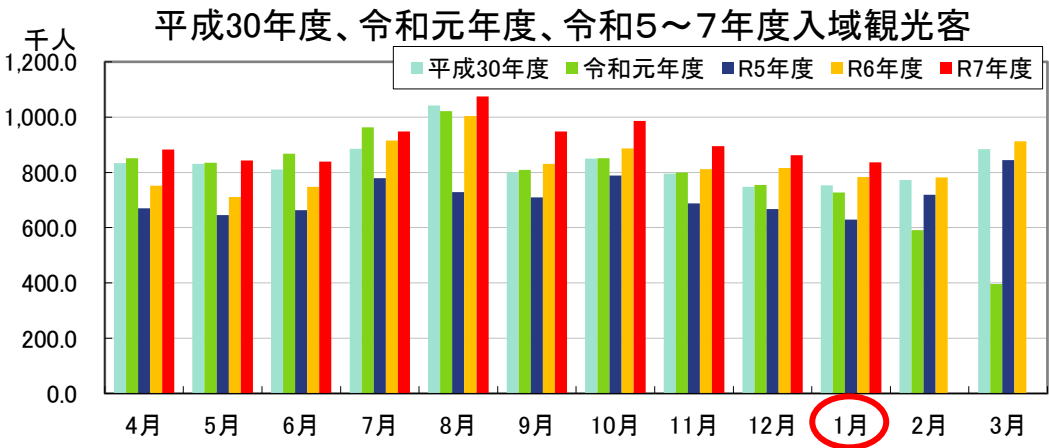
【更新履歴】①令和8年2月25日速報版公表
②令和8年4月27日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	601,400 人	566,800 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	71.9%	523,700人
空路	599,700 人	565,100 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	71.7%	521,600人
海路	1,700 人	1,700 人	＋ 0 人	＋ 0.0%	0.2%	2,100人
外国客	234,600 人	216,600 人	＋ 18,000 人	＋ 8.3%	28.1%	229,800人
空路	168,900 人	148,400 人	＋ 20,500 人	＋ 13.8%	20.2%	150,300人
海路	65,700 人	68,200 人	△ 2,500 人	△ 3.7%	7.9%	79,500人
合計	836,000 人	783,400 人	＋ 52,600 人	＋ 6.7%	100.0%	753,500人

※外国客には、海路における乗務員等22,100人を含む。



国内客 入域状況

1月は、年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことのほか、Jリーグサッカーキャンプ等の県内イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,500 人	274,400 人	＋ 20,100 人	＋ 7.3%	49.0%
関西方面	120,000 人	116,500 人	＋ 3,500 人	＋ 3.0%	20.0%
福岡方面	78,000 人	73,000 人	＋ 5,000 人	＋ 6.8%	13.0%
名古屋	54,500 人	48,000 人	＋ 6,500 人	＋ 13.5%	9.1%
その他	54,400 人	54,900 人	△ 500 人	△ 0.9%	9.0%
合計	601,400 人	566,800 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	18,500	59%	13,500	58%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	2,300	7%	2,000	9%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,600	15%	4,100	18%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	600	2%	300	1%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,100	16%	3,100	13%	
合計	31,500	100%	23,200	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

1月は、年始の需要の高まりに加え、台湾・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は石垣－台北路線(6月1日～)を週2便から週4便に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	92,500 人	63,100 人	+ 29,400 人	+46.6%	39.4%
韓国	64,000 人	60,500 人	+ 3,500 人	+5.8%	27.3%
中国本土	8,800 人	41,500 人	△ 32,700 人	△78.8%	3.8%
香港	20,700 人	15,500 人	+ 5,200 人	+33.5%	8.8%
アメリカ	2,900 人	3,600 人	△ 700 人	△19.4%	1.2%
タイ	2,100 人	1,500 人	+ 600 人	+40.0%	0.9%
シンガポール	2,500 人	1,900 人	+ 600 人	+31.6%	1.1%
その他	41,100 人	29,000 人	+ 12,100 人	+41.7%	17.5%
合計	234,600 人	216,600 人	+ 18,000 人	+8.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等22,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	80,100 人	59,000 人	+35.8%	47.4%	12,400 人	4,100 人	+202.4%	18.9%
韓国	61,400 人	51,300 人	+19.7%	36.4%	2,600 人	9,200 人	△71.7%	4.0%
中国本土	4,600 人	16,100 人	△71.4%	2.7%	4,200 人	25,400 人	△83.5%	6.4%
香港	12,100 人	12,500 人	△3.2%	7.2%	8,600 人	3,000 人	+186.7%	13.1%
アメリカ	1,900 人	1,700 人	+11.8%	1.1%	1,000 人	1,900 人	△47.4%	1.5%
タイ	1,500 人	1,400 人	+7.1%	0.9%	600 人	100 人	500.0%	0.9%
シンガポール	1,900 人	1,800 人	+5.6%	1.1%	600 人	100 人	+500.0%	0.9%
その他	5,400 人	4,600 人	+17.4%	3.2%	35,700 人	24,400 人	+46.3%	54.3%
合計	168,900 人	148,400 人	+13.8%	100.0%	65,700 人	68,200 人	△3.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等22,100人を含む。

外国客の地域構成比

